

季刊

# 博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM  
QUARTERLY

URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

# 106

秋の企画展

## 会津の寺宝

### 福島県立博物館



## 秋の企画展

### 会津仏教会創立一〇〇周年記念

# 会津の寺宝

会期：平成二四年一〇月六日(土)～二月五日(日)  
 主催：福島県立博物館 会津仏教会



①



②

会津には歴史の古いお寺がたくさんあり、寺宝として仏像・仏画や工芸品・古文書などが数多く伝えられています。旧若松城下にあった寺院の場合、幕末の戊辰戦争によって大きな被害を受けて失われたものもありますが、それでも戦禍をくぐり抜けて大切に守られてきた宝物も少なくありません。

仏教の諸宗派のちがいを超えて、おもに会津若松周辺の六十数ヶ寺が集まってつくる会津仏教会が、今年創立一〇〇周年を迎えます。これを記念して、当館との共同で企画されたのが、今回の秋の企画展「会津の寺宝」です。

この企画展では、会津仏教会の会員となっている寺院の所蔵品と、当館の館蔵・受託資料、その他に特別に出品をお願いした特色のある文化財をあわせて展示公開します。国宝一件、重文六件、その他できるだけバラエティーに富んだ資料を集める総数約七〇件を御覧いただけることになりました。会津の寺院や仏教の歴史をふり返り、先人たちの祈りに触れていただく機会になれば幸いです。

会津のお寺について、こんなことを感じたことはありませんか。「門の前は何度も通るので気になってはいたけど、ここはどんなお寺なの?」「有名な文化財があるんだよねえ、写真なんかではよく見られるけど、ほんものは見たことがないなあ」「最近近くに住むようになったものの、会津のことは何も知りません。仏教・会津って何?」「会津のお寺に、いろいろなものがあるとは聞いています。でも、全部みてまわって歩くのはいへん」。

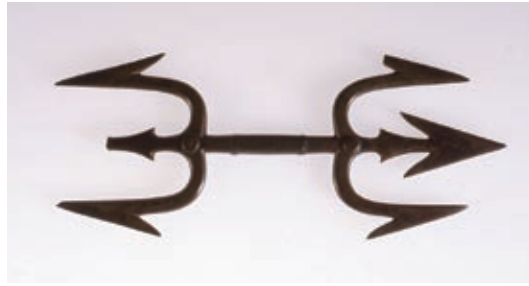
そんな皆さま、ぜひ、今回の企画展を御覧ください。

(歴史担当 高橋 充)

#### ■おもな展示予定資料

※仏画・工芸の一部は、資料保護のために会期中に展示替えを行います。

- |                  |     |     |
|------------------|-----|-----|
| 〈国宝〉 一字蓮台法華経開結共  | 龍興寺 | 写真① |
| 〈重文〉 金銅製双龍双鳥文磬   | 金剛寺 | 写真② |
| 〈重文〉 厨子入木造蘆名盛氏坐像 | 宗英寺 | 写真③ |



④



⑤



③

- おもな関連行事
- ① プレイベント（会津仏教会企画）  
 「大般若経転読の実演」  
 一〇月五日（金）午後二時～ エントランスホール  
 記念講演会（当館企画）  
 「会津の仏像と仏画 鑑賞の極意」  
 一〇月七日（日）午後一時三〇分～ 講堂  
 講師 若林 繁氏（東京家政大学教授）「会津の仏像について」  
 有賀祥隆氏（東北大学名誉教授）「会津の仏画について」
- ③ 記念講演会（会津仏教会企画） ※当日整理券配布を予定  
 「再びの『仏道』」  
 一〇月二一日（日）午後二時～ 講堂  
 講師 玄侑宗久氏
- ④ 展示解説会（当館企画） ※企画展チケットが必要です。  
 一〇月六日（土）午後一時三〇分～ 企画展示室 当館学芸員  
 一〇月八日（月祝）午後一時三〇分～ 企画展示室 当館学芸員  
 一二月二五日（日）午後一時三〇分～ 企画展示室 当館学芸員他  
 クロージングセレモニー（会津仏教会企画）  
 一二月二五日（日）午後三時～
- ⑤ 写真④  
 恵日寺・当館寄託  
 西光寺・当館寄託  
 当館  
 勝常寺  
 写真⑤  
 表紙写真  
 観音寺・当館寄託  
 天寧寺・当館寄託  
 正徳寺・当館寄託  
 絹本着色十六善神像  
 絹本着色達磨図・絹本墨画著色寒山・拾得図  
 絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図 当館  
 当館  
 木造十一面観音立像  
 木造徳一坐像  
 椿彫木彩漆笈  
 絹本着色蒲生氏郷像  
 紙本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図 当館  
 白銅三鈷杵
- ☆この他にも、会期中には会津仏教会の各宗派が企画するさまざまな催しが行われます。

# 会津・漆の芸術祭2012

— 地の記憶 未来へ —

会期：二〇一二年一〇月六日(土)～一二月三日(金・祝)

会場：会津若松市内 二五ヶ所／喜多方市内 一四ヶ所

主催：福島県教育庁／福島県立博物館

会津・漆の芸術祭2012プロジェクト委員会



宮原克人《遠い太陽2012-01》



吉田重信《氣龍》 撮影：吉田暁欧  
会津・漆の芸術祭2010より\*作品イメージ

二〇一〇年より開催している会津・漆の芸術祭。三年目、そして震災後二年目となる今年には「地の記憶 未来へ」をサブテーマに掲げ、会津の地から「漆」を通して福島県の「未来」へのメッセージとなる作品を展示し、イベントを開催します。

展示会場は、会津若松市内・喜多方市内の空き蔵や店舗内。歴史ある蔵や建築物に点在する作品をたどりながら、改めて会津の歴史や文化の豊かさ、福島県の素晴らしさをみなさんと共有したいと思えます。

福島県の地の記憶をたどり、未来を考えるイベントにもぜひ足を運ぶください。

展示会場の詳細は福島県立博物館総合ガイドランスで配布するマップ、あるいはHPでご確認ください。

## ■参加作家：

相田雄一郎 会津工業高校チーム 会津大学大津山研究室「うるらば」プロジェクト 会津短大プロジェクト 会津短大プロジェクト二〇一〇 会津塗伝統工芸士会十原忠信 会津漆器技術後継者訓練校 赤木春菜 秋田公立美術工芸短期大学復興支援プロジェクトチーム 秋田公立美術工芸短期大学熊谷研究室 吾子可苗 浅見晃司 荒井勝佑 飯塚佐喜子 五十嵐健太 石原晋 泉洋之 井波純十吾子可苗 岩田俊彦 岩淵浩之 梅野史代十会津学鳳中高美術部 ウルシオール ウルたまロータリー 逢坂卓郎 大澤周一 大竹信一 大塚隆 大森茂光 小川恵 小野良昌 榎村歩 加藤悦朗 金沢美術工芸大学喜多方三十八間蔵プロジェクトチーム 金沢美術工芸大学大和川酒蔵良志久庵プロジェクトチーム 金澤文利 榎天元棋院 城戸みゆき 儀同哲夫 木村義雄 小松茂夫 齋藤姉妹 坂本理恵 佐藤香 佐藤達夫 塩谷良太 篠原誠司 上越教育大学伊藤研究室 杉原信幸 曾根英昭 高澤俊郎 高橋理加 立岩朝子 田中信行 谷口吏 千葉奈穂子 筑波大学宮原研究室 土屋多加史 7980+ 角田純一 角田弘司 照井克彦 照井克弘 照井邦彦 東北画は可能か？妖怪チーム 常田一彦 富山大学芸術文化学部うぶ心研究室 沼田英恵 半沢政人 広島市立大学大塚研究室 福島大学渡邊研究室 堀浩哉十堀えりぜ 三浦圭一 港千尋 宮原克人 宮本佳明 室井春雄 山内泰次 山口朋子 山中早苗 吉田重信 吉増剛造 渡邊希



佐藤達夫《蒔絵水指 いのちの旅》



会津短大プロジェクト《こどものうらし》



山内泰次《四季草花揃》



篠原誠司《漆一地の記憶》

■トークイベント「漆液がはぐくんだ詩人・相田謙三」

ゲスト…若松丈太郎(詩人)  
聞き手…赤坂 憲雄

(会津・漆の芸術祭ディレクター／福島県立博物館長)

日時…一〇月一七日(水) 一三時三〇分～一五時〇〇分  
会場…福島県立博物館講堂

■トークイベント「漆でつくる・漆で暮らす」

ゲスト…仁城 義勝(木地師)、赤木 明登(塗師)  
聞き手…小林めぐみ(福島県立博物館学芸員)

日時…一〇月四日(日) 一三時三〇分～一五時〇〇分  
会場…末廣酒造嘉永蔵  
定員…一〇〇名(要申込・先着順、電話〇二四二一六六〇六七  
もしくは博物館総合ガイダンスで受付)

■シンポジウム「アートにできること できたこと二〇二二」

パネリスト…吉田 重信(アーティスト)、狐火(シンガー)  
安竜 昌弘・大越 章子(日々の新聞社)

渡邊 晃一(アーティスト／福島現代美術ビエン  
ナーレディレクター)

ヤノベケンジ(アーティスト)

貝沼 航(株式会社明天代表取締役)

千葉 清藍(書道家)

コーディネーター…川延 安直(福島県立博物館学芸員)  
日時…一〇月一七日(土) 一三時三〇分～一五時三〇分  
会場…大和川酒蔵北方風土館

\*その他にもシンポジウム、ワークショップ等のイベント、多数の協賛事業も行われます。マップやHPでご確認ください。

<http://www.aizu-artfest.gr.fks.ed.jp/>

企画展「恐竜時代のふくしま」

記念シンポジウム

ジュラシックふくしま

ー一億五〇〇万年前のふくしまの古環境ー

平成二四年七月二八日(土)

一三時三〇分ー一六時三〇分

福島県立博物館 講堂

恐竜時代、ジュラ紀は地球全体が暖かかった時代。この時期、ふくしまの様子はどのようなものだったのでしょうか。この時代の相馬地域の地層(相馬中村層群)からは、地元の化石研究家のみなさんにより、新種を含めた多彩な生物の化石が発見されており、日本を代表する化石産地として注目されています。これらの化石をもとに、各化石の専門家が当時の生物の姿や環境の復元を試みました。

第一部 講演「相馬地域に分布する相馬中村層群から発見された化石群集」

一、「ジュラ紀後期と白亜紀初期のアンモナイト化石」公益財団法人深田地質研究所会長 佐藤 正氏

①アンモナイトは同定が確実なもの一六種、②相馬中村層群のアンモナイト群集は豊富さで日本でも有数、③すべてテチス海く古太平洋型を示すことが示されました。

二、「植物化石群集と化石から復元される植物体と植生」

ミュージアムパーク茨城県自然博物館資料課長

滝本 秀夫氏  
財団法人自然史科学研究所主任研究員  
大花 民子氏

次の報告がありました。栃窪層の植物は①領石型植物群に属する、②高温で乾季のある環境下にあった、③南部北上との共通種が存在する。また、大花先生より、ソテツの仲間のベネチテス類の新しい復元スタイルが公開されました。

三、「エビ・カニ、ハ虫類そして恐竜の足跡」いわき自然史研究会顧問 高橋 紀信氏

相馬地域の化石の研究団体「相馬中村層群研究会」の指導的立場にある高橋先生により、相馬中村層群から発見された様々な分類群にわたる貴重な化石が紹介されました。特に恐竜の足跡やハ虫類を中心に、その正体に迫る研究が報告されました。

四、「白亜紀初期の放散虫化石群集」福島県立博物館専門学芸員 竹谷陽二郎

相馬中村層群 小山田層上部から放散虫化石四〇種を識別した結果、群集の特徴として、①テチス海域との共通種で占められる、②小山田層上部の年代はバランギニアン後期、③アンモナ



佐藤 正先生による講演

イト化石による小山田層下部の年代(ベリアシアン)と矛盾しないことが示されました。

第二部 パネルディスカッション「相馬中村層群の生物相と堆積環境」

化石と化石を産する岩相をもとに、各層の堆積環境、生物の古生態と生物地理、そして相馬中村層群の堆積場について、講演者による議論がなされました。

大花先生からは、恐竜の食べものとしてベネチテス類の可能性がもっとも高いという指摘がありました。このほか、滝本さんから、新たに得られた栃窪層からの花粉群集の報告があり、ヨーロッパの花粉群集との対比が可能であるとの報告がありました。



講演されたみなさん

最後に佐藤正先生から、今後の相馬中村層群の研究の進め方について、化石の産地と層準を明確に記録すること、シーケンス層序を用いた詳細な堆積環境の解明に努めることが重要との指摘がありました。

(自然担当…竹谷陽二郎)

テーマ展 「ふくしまの教育資料」

会 期：10月20日（土）～11月25日（日）  
 会 場：常設展総合展示室 近・現代コーナー  
 観覧料：大人・大学生260円（常設展料金でご覧になれます）、小中高生無料

ふくしま教育週間（11月1日～7日、11月5日は休館日）を中心とした時期にふくしまの教育資料を展示します。今年は、郡山出身の明治文化研究家石井研堂（1865－1943）が明治40年代に編集した雑誌『実業少年』を紹介します。

研堂は、働く少年が娯楽と教養を深めるようにと願って東京の博文館から『実業少年』を刊行しました。写真は、明治41年（1908）1月創刊号の附録「実業少年出世双六」です。石井研堂の立案で、地道に仕事に取り組むことによって成功が得られるという教訓が織り込まれています。



実業少年出世双六 個人蔵

福島県立博物館移動展

ジュラシック相馬

―化石が語る恐竜時代の相馬地域―

地球の長い歴史の中で、中生代は地球上で恐竜が大活躍していた時代です。中生代では、植物ではシダ植物や裸子植物が、動物ではアンモナイトのほか、恐竜・翼竜・魚竜・首長竜などのハ虫類が繁栄しました。相馬地域に分布するジュラ紀～白亜紀前期の相馬中村層群からも、近年、地元の相馬中村層群研究会や南相馬市博物館などの努力により、新種を含めた世界的に貴重な化石の発見が相次いでおり、この地域の自然のもつすばらしさが改めて注目されています。県立博物館の移動展として、地元の南相馬市博物館でこれらの標本を公開することとなりました。展示では、これらの化石と化石を産する地層をもとに、恐竜時代の相馬地域の生きものの姿や当時の環境を復元します。

この移動展は、県立博物館で夏休みの期間開催された企画



エイガー ティブラリウス (エビ)  
 ジュラ紀後期 ドイツ

展「恐竜時代」のふくしまのダイジェスト版でもあり、相馬地域の姿に想いを馳せていただければと思います。

会期：平成二四年一〇月二三日（土）～二日二四日（月・祝）  
 会場：南相馬市博物館

## 企画展

秋の企画展

「会津の寺宝」

会期 10月6日(土)～11月25日(日)

◎秋の企画展関連行事

プレ(開幕前日)イベント「大般若経転読の実演」

日時 10月5日(金) 14時

会場 福島県立博物館エントランスホール

日時 10月6日(土)・8日(月祝)・11月25日(日)

会場 福島県立博物館企画展示室

講師 担当学芸員

「写経です」

日時 企画展会期中(10月6日～11月25日)の毎週金曜日

13時30分

会場 福島県立博物館実習室

記念講演会「会津の仏像と仏画 鑑賞の極意」

日時 10月7日(日) 13時30分

会場 福島県立博物館講堂

講師 東京家政大学教授 若林 繁さん  
東北大学名誉教授 有賀祥隆さん

坐禅体験とDVD解説

日時 10月13日(土) 14時

会場 福島県立博物館視聴覚室

記念講演会「再びの『仏道』」

日時 10月21日(日) 14時

会場 福島県立博物館講堂

講師 玄侑宗久さん

講経の実演

日時 10月26日(金) 14時

会場 福島県立博物館講堂

ミュージアムイベント「ひとり人形芝居」

日時 10月28日(日) 11時～、13時30分

会場 福島県立博物館講堂

出演 安藤圭一さん

琵琶の弾き語り

日時 11月1日(木) 14時

会場 福島県立博物館講堂

出演 和田至統さん 博多美保子さん

「来てー見てー聴いてーすてき仏教」

◎天台宗・曹洞宗共催 御詠歌奉詠交流発表会と

大海大僧正を知る講演会

日時 11月7日(水) 13時30分

会場 福島県立博物館講堂

坐禅体験と実演

日時 11月11日(日) 10時～、14時

会場 福島県立博物館視聴覚室・体験学習室

ミュージアムイベント「法衣ファッションショー」

日時 11月17日(土) 14時

会場 福島県立博物館講堂

クローゼットセレモニー

日時 11月25日(日) 15時

会津・漆の芸術祭2012

会期 10月6日(土)～11月23日(金)

テーマ展

※常設展料金でご覧になれます

「ふるさとの考古資料3 館蔵『9人のコレクション』展

会期 6月5日(火)～8月25日(日)

会場 漆の芸術祭2012

会期 10月6日(土)～11月23日(金)

「吉祥」

会期 12月22日(土)～平成25年1月27日(日)

ポイント展

※常設展料金でご覧になれます

「郡山市熱海遺跡の縄文土器」

会期 7月24日(火)～平成25年3月3日(日)

「相双地方の旧石器」

会期 9月11日(火)～平成25年3月3日(日)

「縄文うろしの世界」

会期 10月6日(土)～11月30日(金)

「会津年中行事屏風」

会期 10月11日(木)～11月21日(水)

「新発見!弥生時代の木の道具」

会期 10月16日(火)～平成25年3月3日(日)

「ふくしまの教育資料」

会期 10月20日(土)～11月25日(日)

「ウニの世界」

会期 10月27日(土)～12月24日(月)

「古墳時代の象嵌技術」

会期 11月13日(火)～平成25年3月3日(日)

「こたつがけ」

会期 12月5日(水)～平成25年1月23日(水)

◎ポイント展関連行事

「古墳時代の象嵌技術」講演会&報告会

日時 11月24日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 福島大学教授 菊地芳朗さん

学芸員 松田隆嗣 高橋 満 杉崎佐保恵

移動展

「ジュラシック相馬」

会期 10月13日(土)～12月24日(月)

会場 南相馬市博物館

◎移動展関連行事

移動展関連講演「恐竜時代の相馬」

日時 10月28日(日) 13時30分～15時30分

会場 南相馬市博物館

講師 福島県立博物館学芸員 竹谷陽二郎

ミュージアムイベント

※は要申込

クリスマスコンサート「祈りの夕べ」

日時 12月15日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館エントランスホール

出演 板橋 亮さん 高木満理子さん 細川佳那枝さん

木曜の広場

「老嫗茶話」を読む

日時 10月18日(木) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 館長 赤坂憲雄

「老嫗茶話」を読む

日時 11月15日(木) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 館長 赤坂憲雄

「老嫗茶話」を読む

日時 12月13日(木) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 館長 赤坂憲雄

講演・講座

※は要申込

◎民俗講座

収蔵庫から4「こけしと木地師」

日時 11月10日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館視聴覚室

講師 学芸員 二瓶浩伸

◎自然史講座

※チリメンモンスターをさがせ!

日時 11月3日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館実習室

講師 きしわだ自然友の会 日下部さん・図師さん

※鶴ヶ城の野鳥

日時 11月11日(日) 13時30分～15時30分

会場 鶴ヶ城公園・福島県立博物館視聴覚室

講師 野鳥研究家 古川裕司さん

実演

からむし織り

日時 10月14日(日) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館 体験学習室

講師 伝統技術保持者 酒井モト子さん

檜枝岐に伝わるガバぞうり作り

日時 11月4日(日) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館体験学習室

講師 伝統技術保持者 平野チサエさん

やさしい展示解説

※展示解説員による常設展総合展示の案内です。

\*毎週土曜日、日曜日の10時30分と14時から30分ほど行

います。

\*要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募

集を開始しますが、異なる場合もありますのでお

問い合わせください。

\*その他、行事等の詳細に関しましては、月行事予

定やホームページをご覧ください。

常設展無料開放日

11月3日(土) 文化の日

企画展無料開放日(ふくしま教育週間のため)

※小学生・中学生・高校生のみ

11月1日(木)～11月7日(水) ただし、休館日は除

きます。

10月～12月の休館日

10月1日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)

29日(月)

11月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

12月3日(月)・10日(月)・17日(月)・18日(火)

25日(火)・28日(金)～31日(月)

リサイクル適正